

誇りある
皆の故郷

浅間台



平成24年度

4月号

学校・家庭・地域が一体となった教育の推進



「第2ステージ」(質の高い学力の定着)第2弾 「学校図書館教育」と「東海グループ小中一貫教育」の推進

校長 豊島 呈次

「質の高い学力」とは、一言で言えば、学校で学んだ基礎学力が日常生活に生かせる力であり、日常で体験した力を、学校の学習の中で、お互いに啓発し合い、より高い目標に向かって一生懸命取り組む力だと捉えています。

昨年度は、小規模校の特色を生かした教育活動「Asamadai ギャラリー」や「赤ちゃん交流」。「食農教育」「学習発表会」「職業体験」を新組織「複数担任制」と習熟度別学習「浅間台寺子屋Ⅰ・Ⅱ」によって、第2ステージの目標の「質の高い学力の定着」を図って参りました。全国学力標準検査(CRT)の結果は、全ての学年が昨年度を上回りました。また、世界児童画展でも出品した作品全てが特別賞・特選に選ばれました。マスコミにも本校の取り組みが取り上げられることがしばしばありました。この成果は保護者・地域の皆様に本校の教育を理解していただき、共に関わって頂いたお陰と感謝しております。

さて、平成24年度は「第2ステージ第2弾」として、子ども達一人一人にさらに質の高い学力を身に付けさせるために3つの取り組みをします。

その1つ目は、言語能力の向上を目指す「学校図書館教育」です。本校は、今年度から東京都の指定を受けて、学校図書館を活用して児童の「話す・聞く・読む・書く」の言語能力の向上と論理的思考の育成を図る研究を3年間行います。言語は全ての学習の基礎となるものです。また、物事を論理的に進めることも生きていく上で、とても大切な能力です。3年間かけて本校の児童に質の高い学力をしっかりと身に付けさせていきます。また、品川区学校歯科医師会の指定を受け「給食後の歯磨き推進モデル校」(2年間)に取り組みます。学習への集中力や学力向上、忘れ物の減少も期待できる試みです。

2つ目は、「東海グループ」【施設分離型モデル校】(東海中・城南小・城南第二小・浅間台小)の小中一貫教育の推進です。9年間、一貫した教育を進めることで「論理的に考える力」と「礼節を重んじる態度」を育成していきます。4校が一貫性・共通性をもって「学力・生活指導・市民科・進路指導」を向上させる「経営企画部」と、「学年のつながり」を常に検証しながら児童の成果と課題を明確にして指導していく「学年指導部」とに分かれて、より質の高い小中一貫教育を進めていきます。

3つ目に、今年度から始まった品川区の月2回の土曜日授業の活用です。土曜日の特別時間割の1校時は、全校一斉の習熟度別学習を行います。低・中・高学年別に自分の学力に応じて、難易度の低いものから高いものまで学べる内容にいたします。また、2校時～4校時は、学校行事や「裁量の時間」として活用します。学級の学習の補完や定着を図れるよう、じっくりと時間を掛けて取り組めるようにしたいと思っています。

これら、第2ステージ第2弾の取り組みについては、4月21日(土)の全校・学級保護者会にて詳しくご説明いたします。是非、万障お繰り合わせの上ご出席下さい。